

第2049号

2023年2月12日

日本共産党根室市議団
根室市宝林町4-203

TEL 23-6023

FAX 24-1684

3年ぶりの対面開催

「北方領土の日」

根室管内住民大会

7日、市総合文化会館で、「北方領土の日」根室管内住民大会が実施されました。コロナ禍で過去2年間は無観客開催だったので、3年ぶりの対面開催です。



3年ぶりに参加者全員で行ったシュプレヒコールの様子

大会の冒頭、「北方領土返還要求全国大会」（東京、石垣雅敏根室市長も出席）での岸田文雄首相のあいさつの様子が大型モニターに映し出されました。



一方で、首相は「我が国固有の領土」と述べず、「北方四島の帰属問題を解決」するとも言及しませんでした。

大会アピールは「北方四島」について「ソ連に不法占拠されたまま今日に至っているのは許されない」と非難。「不法占拠」との文言を5年ぶりに復活させました。

管内住民大会には約850人が参加。主催者、来賓の方々の挨拶の後、各年代から3名が決意表明を行いました。

国後島出身の鈴木昭男さんは、「二日も早い四島訪問事業の再開と、返還への道筋をつける力強い外交交渉を求めます」と訴えました。続いて、根室青年会議所の野陳克敏さん、島民4世で根室高校北方領土研究会の佐藤紅羽さんが決意表明を行いました。

最後に、千島歯舞居住者連盟の皆さんの音頭で、3年ぶりに参加者全員でシュプレヒコールを行いました。

全国大会に寄せた日本共産党の「政党決意」

故郷を追われ大変なご苦労を重ねてこられた元島民とご家族へ親族の方々に心からの挨拶を申し上げるとともに、大会関係者の皆様に敬意を表します。

ロシアのプーチン政権は昨年、国連憲章を踏みしり、無法で残虐なウクライナ侵略を始めました。千島列島の海域では、ロシアの防衛海域として、北極海や黒海とともに新たな軍拡が進められています。ウクライナ同様、ロシアの「軍事力による現状変更」の犠牲となったのが島民の方々です。日領土問題は、スターリンが「領土不拡大」という第2次世界大戦の戦後処理の大原則に反して千島列島を占領し一方的に併合したことが原因です。それを認めるヤルタ協定やサンフランシスコ条約による戦後処理の不正は、国際的道理により今こそただされるべきです。日本共産党は、北海道の一部である歯舞・色丹の即時返還はもちろん、択捉と国後を含む日本の正当な領土である全千島の返還実現のため今後とも力を尽くします。

あいさつの中で岸田首相は、日ロの平和条約交渉について「領土問題を解決し、平和条約を締結する方針は堅持する」と述べるにとどめ、昨年まで言及していた「交渉を進める」との表現を用いませんでした。

ロシアのプーチン政権はウクライナ侵略に対する日本の経済制裁に反発し、昨年3月に平和条約締結に関する交渉の中断を一方的に発表。これを受け交渉の展望が示せなくなつたとみられます。

最後に、千島歯舞居住者連盟の皆さんの音頭で、3年ぶりに参加者全員でシュプレヒコールを行いました。